京城日報 夕刊 五月二十二日(日)

齋藤子に大命降下

【東京至急電報】後繼內閣組織の大命は午後二時四十五分

齋藤實子に降下した(午後三時着—號外再錄)

最後の斷案を下して 西園寺公愈よ參內す

【東京發聯合】西園寺公は去る十九日上京以來政局の重大なるに元老の重責にかんがみ、連日にわたり牧野內府、高橋兼任首相、倉富枢府議長、清浦伯、若槻男等各前官禮遇、東郷、上原兩元帥、荒木、大角陸海兩相等と會見、山本伯は山之內氏を通じて意見を聽取し、これをもつて未曾有の難局匡救に關する重臣方面の意見、要望を一わたり聽取したので、二十二日午前十時二十二分には再度牧野內府の來邸を求め、まづ重臣方面と會見の顚末を告げ改めて牧野內府の意向を確かめ最後的の重要協議を遂げ內府は同十一時二分辭去したが、こゝに老公は各重臣の要望と各方面の情勢を參考とし愼重孰慮の結果斷乎自己の信念に基き後繼內閣組織者奏薦の斷案を下すに至つたものゝ如くよゝ午後一時廿七分參內御下問に奉答することゝなつた

齋藤子奏請に決定か

擧國一致內閣に贊成

【東京發電通】西園寺公は午後一時廿七分參內、後繼內閣の首班につき御下問に奉答するとなつたが、公は上京以來連日重臣の進言を聽き愼重考慮の結果、擧國一致內閣に贊成し國家の元勳山本權兵衛伯を奏請せんとしたが、伯は既に八十一且つ健康も往年の如く思はしからぬので、齋藤子を奏請するに決した模樣である

大命降下まで 牧野內府參內す

【東京發電通至急報】牧野內府は西園寺公の奉答を聽取のため廿二日午前十時廿分西園寺公を訪問、同十一時二分公邸を辭し直に參內、鈴木侍從長、奈良武官長と對面し、西園寺公との會見內容につき協議した後、午前十一時五十分 天皇陛下に拜謁仰附けられた

「單一」より「協力へ」

鈴木總裁の心境變化

【東京發聯合】單一政黨內閣を唱して直往邁進せんとしてゐた鈴木總裁は、廿一日午後總理官邸に於て內閣參議、內閣書記官長、內閣法制局長官等と協議した結果、この重大時局を經營するものは單一政黨內閣でなければならないと信じてゐたが、參謀長等が政黨をまか國家をまかといふ謂ひ協力內閣說を持してゐる關係及び重臣方面の意見が殆んど政黨基礎の協力內閣說に傾いて居り、軍部もまた政黨政治絕對否認を捨て擧國一致內閣のみを主張するに至つた以上、政友會としても必ずしも單一政黨內閣を固執すべきでないとの意見に傾いた、よつて西園寺公から意見を徵された場合、鈴木總裁は理想としては單一政黨內閣であるが、時局に鑑み協力內閣を組織する意思ある事を明白にするものと見られてゐる

政友會の危機來る

床次、久原系の不滿

或は分裂して協力內閣支持か

【東京發電通】政友會內の政策研究會は、久原系は鈴木總裁に、床次系は鈴木總裁に、相談せず獨斷、專橫兩氏と私議し、政友會內閣であるが、時局に鑑み協力內閣を組織する意思ある事を明白にするものと見られてゐる

その後鈴木總裁は黨の顧問會議に出席し、鈴木總裁が總辭職なる言を吐くので重臣に對し、鈴木總裁が總辭職なる言を吐くので重臣の諒解を懇請したのみならず、軍部の諒解にあるにも拘らず、徒らに鈴木總裁が總辭職なる言を吐くので重臣の諒解を懇請したのみならず、軍部

自分の態度は

黨の機關に諮る

政友會以外に大命降下の場合

【東京發電通】鈴木總裁は廿二日午後金子秀吉總裁に會見し、新聞に自分の心境に變化がある如く傳へられてゐるとせば單一政黨を基礎とする黨外からも黨の主義政策に共鳴して來る者を入閣せしめ、協力內閣を組織するつもりである、若し山本伯とか齋藤子に大命降下し自分の態度を決めなければならぬ場合は、自分一個の考へで決める譯には行かぬ、その場合は黨の機關に諮り之を助けるとか助けぬとかは黨の態度を決定する

軍部の態度

國家本位に立脚すれば 鈴木總裁てもよい

【東京發電通】政友會總裁は廿二日午後金子秀吉總裁に會見し、新聞に自分の心境に變化がある如く傳へられてゐるとせば單一政黨を基礎とする黨外からも黨の主義政策に共鳴して來る者を入閣せしめ、協力內閣を組織するつもりである、若し山本伯とか齋藤子に大命降下し自分の態度を決めなければならぬ場合は、自分一個の考へで決める譯には行かぬ、その場合は黨の機關に諮り之を助けるとか助けぬとかは黨の態度を決定する

軍部の態度

幾分緩和された

國家本位に立脚すれば 鈴木總裁てもよい

【東京發電通】政友會總裁は廿二日午後金子秀吉總裁に會見し、新聞に自分の心境に變化がある如く傳へられてゐるとせば單一政黨を基礎とする黨外からも黨の主義政策に共鳴して來る者を入閣せしめ、協力內閣を組織するつもりである、若し山本伯とか齋藤子に大命降下し自分の態度を決めなければならぬ場合は、自分一個の考へで決める譯には行かぬ、その場合は黨の機關に諮り之を助けるとか助けぬとかは黨の態度を決定する

政友總會

議會に臨む 陣容を整ふ

【東京發電通】政友會では六十二議員の缺員を補充するため二十二日午後一時から本部で議員總會を開き、ついで鈴木總裁は議會に臨む方針を指示すると同時に幹部に國會に臨する抱負と決意を述べ、當日の激論を經て總會を終了し、午後二時過ぎ議場に入り第一讀會を開き午後三時過ぎ散會、午後五時より總裁官邸に會合した

政治干與「ではない」

一部の非難に 陸軍側の見解

【東京發電通】今回の軍部に伴ふ陸軍の態度に對し世上一部では、政治に干與するものなりとの非難を蒙り攻撃せんとする傾向にあるが、陸軍としては次の如き見解をなしてゐる

一、陸軍司令官が元老に政治上の意見を述べたと假定しても、元老は現實に政治責任の重擔ではないから政治干與と謂すべきでない

一、陸軍大臣が後繼內閣問題その他當面の政治上の重大問題につき意見を述べたとしても、これは當然のことで之を不可となすならば國務大臣たることを否認する

ものである

一、軍事參謂官が使命二回四名の政局に關する意見を徵されたとしても、これは軍事參謂官はなく軍事參謂官たる資格に於て私的意見の交換をなしたに過ぎず、政治干與と見るべきでない

一、元帥が元老の招請に依り元老と會見し政治上の問題に言及し意見を述べたとしても第一項と同樣の趣旨に於て何等差支へない

園公に信賴す

——難しい事柄ではあるが——

會見後 荒木陸相語る

【東京發電通】園公と會見後荒木陸相は語る

今回の事件について一應報告しておくことが必要と考へこちらから申込んで御目にかゝつたのである、事件に關しては大體公に至るまで意見同一であつて、何故にあのやうな事件が起つたか、從つて今後如何にしなければならないかといふやうな問題に對する陸軍の考へは私が申上げるまでもなく、公はよく御承知である、園公は明朝出發なさるから難しい事柄ではあるが至派に切抜けられることと信ずる、園公も軍部の等閑については大變心配されこれ以上に出來ることは無いと信ずる、陸軍としては

けふの寫眞

上陸城宮たれさ鯛さ鯛で ピンヤラ城宮城宮城宮 (上) 浦三の巻巾 (左で つ向) 角大座手選盟盟盟盟盟 (右で つ向) 長 (下) ルト) ハイ ハ (右で つ向) 君れさ鯛鯛 かま一後午ふ デで 亜亜亜亜亜亜亜 谷川町 (各萬のたは鯛の 會大学存鯛鯛鯛 ―諸鯛鯛

見事成功！大西洋横斷飛行

婦人飛行家の第一番

プトナム夫人

【ロンドン廿一日發電】二十日午後四時五十一分ニューアウンドランドのハーバーグレースを出發して大西洋横斷飛行の壯途に上つた米女流飛行家アメリア・イヤハート・プトナム夫人は二十一日午後二時三十分アイルランドのロンドンダリーに不時着したが見事に大西洋横斷飛行に成功した、婦人の單獨大西洋横斷飛行成功は夫人を以て嚆矢とする

快翔一千九百哩

十五時間三十九分

【カルモアアイルランド二十一日發電】大西洋横斷飛行に成功して二十一日午後二時三十分ロンドンダリーに着いた米女流飛行家プトナム夫人は飛行距離一千九百哩で、所要時間十五時間三十九分であつた

夫人は語る

【ロンドン廿一日發電】アイルランドのロンドンデリーに不時着除途に大西洋を横斷しロンドンダリー郊外の牧場地カルモアに不時着を余儀なくされたお喜びは微塵だにしませんでした、途中濃霧に遮られ十時間以上故障のまゝ飛行しなければならなかつたので途中不時着を余儀なくされました

朝鮮號3 間島へ向ふ

北鮮各地に表敬して

【平壤發電】愛國號朝鮮號三號機は二十二日午前十時十分城南の上空に現れ歓迎の爆音を響かせ市民を二回歓迎の意に答へ市民に歓喜を與へ約十分の後一路間島に向つた

◇……羅南 【羅南發電】雨と霧のために延期を重ねてゐた愛國號朝鮮號は二十二日午前十時十分城南の上空に現れ市民が歓迎して飛行を待つてゐたわれ等の愛國號朝鮮號は二十二日午前十時十分城南の上空に現れ歓迎の爆音を響かせ市民を二回歓迎の意に答へ市民に歓喜を與へ約十分の後一路間島に向つた

◇……元山 【元山特電】愛國號朝鮮號の爆音は、弱い聞かつた天候が日本朝れに晴れ渡つた廿二日午前八時十分爆音軽重さして平壤より飛来し五月の空に響き渡り平壤市民歓喜の中を歓迎飛行して元山市民に歓喜の中を歓迎飛行を行ひ間島へ向つた

◇……城津 【城津發電】天候不良の爆音がしばらくとなり北鮮の

各地の歓迎ぶり

正體不明の爆音一一回

調査員到着を前に

廿一日夜奉天市で

【奉天廿一日發電】二十一日夜八時半頃奉天市中に二回に亘つて爆音が聞こえ調査員の到着を前に歓迎中の我が奉天警察署、憲兵隊、特務機関、領事館、鉄道隊、學校、官民は一時騒然となつた

◇……調査員の到着を前に歓迎中の我が奉天警察署、憲兵隊、特務機関、領事館、鉄道隊、學校、官民は一時騒然となつた

龍井村着

【間島發電】間島飛行場に配備された愛國號朝鮮號第三號機は午後二時二十分無事龍井村に飛来した

七七聯隊の軍旗祭

けふ盛大に

【平壤發電】武勲輝くとして歓迎した平壤歩兵七七聯隊の軍旗祭は五月の陽ぶんぐたる二十二日午前十時半から同聯隊庭に於て中島聯隊長以下將兵、學徒生徒、官民有力者、其他多數の人々が參列の上、聯隊に集行され、正午から約一千名の來賓は廣聯隊に招待され午後一時から聯隊、消防、その他各種の餘興が行はれ非常な賑ひを見せた

今西博士逝く

朝鮮史學の權威者

二十日京都に於て

月京大文科講師に嘱託され同五年京大助教授になり十一年には文博の學位を授與され同年から二ヶ年歐洲、支那に留學ひけるる、つゞいて十五年五月京大講師教授となり昨年高等官一等となる、氏は故今西博士

故今西博士略歴

明治八年岐阜縣に生れ三十六年東大文科史學科を卒え、大正二年三

佛巡洋艦進水

獨艦に對抗の

【ブレスト廿一日發電】フランスの一万噸巡洋艦アルジェリー號は本日ブレストに於て進水式を挙行した、右は獨逸の独逸艦に對抗する目的で作られたものである

所澤機

歸還の途に

けさ平壤出發

【平壤特電】所澤飛行機の八八式偵察機一機は二十一日午前七時四十五分平壤飛行場を出發、京城、平壤、新潟、羅南の上空を經て間島に向つた

夏とスリ

佐藤捜査の鍵

夏と掏摸―五月に入つて京城地方は陽春の候に入り人出も日に日に多くなつて掏摸の被害が続出して來て神戸迂

琿春約一千の叛亂軍に包圍さる

【間島電報】琿春は約一千の叛亂軍に包圍され形勢急を告ぐるに至つた

我大使館前で共産黨員のデモ

投石し窓硝子を破壊

【ベルリン廿一日發電】廿一日正午頃ドイツ共産黨員数名が日本大使館前にたゞ一人ストレーションを行ひ「打倒日本」を叫び大使館からの命令に基づき警官隊が出動し直ちに解散を命じたが群衆は解散せず大使館前に向つて盛んに石を投げつけて窓硝子二枚を破壊し、遂に一名の犯人を逮捕したのみで他は全部逃走した

京城陸上聯盟

第一回選手權大會

けふ京城運動場で

京城陸上聯盟

第一回

京城實業リーグ

打撃戰―

遞信優勢

對殖銀二回戰

京商勝つ

◇對善隣戰

治病と新職業に

靈療法

安部會長に

留任を勸告

同氏即答せず

卓球大會

大學專門聯盟

一圓紙幣

實は廣告紙

果物屋で發見

病院を脱走

不思議な患者

大邱の棄兒

弘法大師御傳記

映畫會

菓子は大和軒

コロムビア 吹込 ヴォーカルナート アウヴィ

六月新譜 (五月中旬發賣)

日本コロムビア蓄音器株式會社

ビクター

Columbia

日本ビクター蓄音器株式會社

YSB YUASA 自轉車家庭用 ユアサ電池ランプ 三井物産株式會社京城支店内 湯淺京城出張員

開業御披露 會期 五月二十三(月)二十四(火) 兩日共 午前九時より午後一時まで 午後一時より翌十一時まで 競賣 會場 南山町 京城美術倶樂部 主催 會社 東洋美術倶樂部 後援 京城美術倶樂部 電話本局三八六八番

古今逸品八百餘點總評價數拾萬圓 書畫界の覇王 東京銀座 東洋美術倶樂部の京城進出 新古書畫名寶大賣立 御料理仕出し 瓢たん石井式部 京城本町二丁目 電話本局三八六八番

京城府筒崎町七番地 (南原社宅) 京城美術倶樂部 電話新山九九三番

経口 明証有効 キラクルトニック 生毛ホルモン 創經流強殊精新 一カンサ

本劑は効果確實なる内服強壮剤にして斯界に於ける最良の強壮剤なり 月やく止り人知れず 御心配の御婦人方よ！

本劑は一般に知られざる婦人の特有なる疾患に對し特効を奏し殊に月經不順、月經閉止、月經過多、月經痛、白帶下、不妊症、産後の衰弱、産後の出血過多、産後の不眠、産後の食欲不振、産後の神經衰弱、産後の便秘、産後の浮腫、産後の貧血、産後の産後の諸症に對し特効を奏す

本劑は京都山の内四十九番地 眞生園 京都府元町二丁目八〇ノ七 眞生園京城支店 電話名のない二七番筒刷に注意下さい

京城高商―最初の高等官

京城實業リーグ

中等聯盟リーグ

◇卓球大會

◇第一回戰

◇第二回戰

◇第三回戰

◇第四回戰

◇第五回戰

◇第六回戰

◇第七回戰

◇第八回戰

◇第九回戰

◇第十回戰

◇第十一回戰

◇第十二回戰

◇第十三回戰

◇第十四回戰

◇第十五回戰

◇第十六回戰

◇第十七回戰

◇第十八回戰

◇第十九回戰

◇第二十回戰

◇第二十一回戰

◇第二十二回戰

◇第二十三回戰

◇第二十四回戰

◇第二十五回戰

◇第二十六回戰

◇第二十七回戰

◇第二十八回戰

◇第二十九回戰

◇第三十回戰

◇第三十一回戰

◇第三十二回戰

◇第三十三回戰

◇第三十四回戰

◇第三十五回戰

◇第三十六回戰

◇第三十七回戰

◇第三十八回戰

◇第三十九回戰

◇第四十回戰

◇第四十一回戰

◇第四十二回戰

◇第四十三回戰

◇第四十四回戰

◇第四十五回戰

◇第四十六回戰

◇第四十七回戰

◇第四十八回戰

◇第四十九回戰

◇第五十回戰

◇第五十一回戰

◇第五十二回戰

◇第五十三回戰

◇第五十四回戰

◇第五十五回戰

◇第五十六回戰

◇第五十七回戰

◇第五十八回戰

◇第五十九回戰

◇第六十回戰

◇第六十一回戰

◇第六十二回戰

◇第六十三回戰

◇第六十四回戰

◇第六十五回戰

◇第六十六回戰

◇第六十七回戰

◇第六十八回戰

◇第六十九回戰

◇第七十回戰

◇第七十一回戰

◇第七十二回戰

◇第七十三回戰

◇第七十四回戰

◇第七十五回戰

◇第七十六回戰

◇第七十七回戰

◇第七十八回戰

◇第七十九回戰

◇第八十回戰

◇第八十一回戰

◇第八十二回戰

◇第八十三回戰

◇第八十四回戰

◇第八十五回戰

◇第八十六回戰

◇第八十七回戰

◇第八十八回戰

◇第八十九回戰

◇第九十回戰

◇第九十一回戰

◇第九十二回戰

◇第九十三回戰

◇第九十四回戰

◇第九十五回戰

◇第九十六回戰

◇第九十七回戰

◇第九十八回戰

◇第九十九回戰

◇第百回戰

◇第百一回戰

◇第百二回戰

◇第百三回戰

◇第百四回戰

◇第百五回戰

◇第百六回戰

◇第百七回戰

◇第百八回戰

◇第百九回戰

◇第百十回戰

◇第百十一回戰

◇第百十二回戰

◇第百十三回戰

◇第百十四回戰

◇第百十五回戰

◇第百十六回戰

◇第百十七回戰

◇第百十八回戰

◇第百十九回戰

◇第百二十回戰

◇第百二十一回戰

◇第百二十二回戰

◇第百二十三回戰

◇第百二十四回戰

◇第百二十五回戰

◇第百二十六回戰

◇第百二十七回戰

◇第百二十八回戰

◇第百二十九回戰

◇第百三十回戰

◇第百三十一回戰

◇第百三十二回戰

◇第百三十三回戰

◇第百三十四回戰

◇第百三十五回戰

◇第百三十六回戰

◇第百三十七回戰

◇第百三十八回戰

◇第百三十九回戰

◇第百四十回戰

◇第百四十一回戰

◇第百四十二回戰

◇第百四十三回戰

◇第百四十四回戰

◇第百四十五回戰

◇第百四十六回戰

◇第百四十七回戰

◇第百四十八回戰

◇第百四十九回戰

◇第百五十回戰

◇第百五十一回戰

◇第百五十二回戰

◇第百五十三回戰

◇第百五十四回戰

◇第百五十五回戰

◇第百五十六回戰

◇第百五十七回戰

◇第百五十八回戰

◇第百五十九回戰

◇第百六十回戰

◇第百六十一回戰

◇第百六十二回戰

◇第百六十三回戰

◇第百六十四回戰

◇第百六十五回戰

◇第百六十六回戰

◇第百六十七回戰

◇第百六十八回戰

◇第百六十九回戰

◇第百七十回戰

◇第百七十一回戰

◇第百七十二回戰

◇第百七十三回戰

◇第百七十四回戰

◇第百七十五回戰

◇第百七十六回戰

◇第百七十七回戰

◇第百七十八回戰

◇第百七十九回戰

◇第百八十回戰

◇第百八十一回戰

◇第百八十二回戰

◇第百八十三回戰

◇第百八十四回戰

◇第百八十五回戰

◇第百八十六回戰

◇第百八十七回戰

◇第百八十八回戰

◇第百八十九回戰

◇第百九十回戰

◇第百九十一回戰

◇第百九十二回戰

◇第百九十三回戰

◇第百九十四回戰

◇第百九十五回戰

◇第百九十六回戰

◇第百九十七回戰

◇第百九十八回戰

◇第百九十九回戰

◇第二百回戰

◇第二百一回戰

◇第二百二回戰

◇第二百三回戰

◇第二百四回戰

◇第二百五回戰

◇第二百六回戰

◇第二百七回戰

◇第二百八回戰

◇第二百九回戰

◇第二百十回戰

◇第二百十一回戰

◇第二百十二回戰

◇第二百十三回戰

◇第二百十四回戰

◇第二百十五回戰

◇第二百十六回戰

◇第二百十七回戰

◇第二百十八回戰

◇第二百十九回戰

◇第二百二十回戰

◇第二百二十一回戰

◇第二百二十二回戰

◇第二百二十三回戰

◇第二百二十四回戰

◇第二百二十五回戰

◇第二百二十六回戰

◇第二百二十七回戰

◇第二百二十八回戰

◇第二百二十九回戰

◇第二百三十回戰

◇第二百三十一回戰

◇第二百三十二回戰

◇第二百三十三回戰

◇第二百三十四回戰

◇第二百三十五回戰

◇第二百三十六回戰

◇第二百三十七回戰

◇第二百三十八回戰

◇第二百三十九回戰

◇第二百四十回戰

◇第二百四十一回戰

◇第二百四十二回戰

◇第二百四十三回戰

◇第二百四十四回戰

◇第二百四十五回戰

◇第二百四十六回戰

◇第二百四十七回戰

◇第二百四十八回戰

◇第二百四十九回戰

◇第二百五十回戰

◇第二百五十一回戰

◇第二百五十二回戰

◇第二百五十三回戰

◇第二百五十四回戰

◇第二百五十五回戰

◇第二百五十六回戰

◇第二百五十七回戰

◇第二百五十八回戰

◇第二百五十九回戰

◇第二百六十回戰

◇第二百六十一回戰

◇第二百六十二回戰

◇第二百六十三回戰

◇第二百六十四回戰

◇第二百六十五回戰

◇第二百六十六回戰

◇第二百六十七回戰

◇第二百六十八回戰

◇第二百六十九回戰

◇第二百七十回戰

◇第二百七十一回戰

◇第二百七十二回戰

◇第二百七十三回戰

◇第二百七十四回戰

◇第二百七十五回戰

◇第二百七十六回戰

◇第二百七十七回戰

◇第二百七十八回戰

◇第二百七十九回戰

◇第二百八十回戰

◇第二百八十一回戰

◇第二百八十二回戰

◇第二百八十三回戰

◇第二百八十四回戰

◇第二百八十五回戰

◇第二百八十六回戰

◇第二百八十七回戰

◇第二百八十八回戰

◇第二百八十九回戰

◇第二百九十回戰

◇第二百九十一回戰

◇第二百九十二回戰

◇第二百九十三回戰

◇第二百九十四回戰

◇第二百九十五回戰

◇第二百九十六回戰

◇第二百九十七回戰

◇第二百九十八回戰

◇第二百九十九回戰

◇第三百回戰

◇第三百一回戰

◇第三百二回戰

◇第三百三回戰

◇第三百四回戰

◇第三百五回戰

◇第三百六回戰

◇第三百七回戰

◇第三百八回戰

◇第三百九回戰

◇第三百十回戰

◇第三百十一回戰

◇第三百十二回戰

◇第三百十三回戰

◇第三百十四回戰

◇第三百十五回戰

◇第三百十六回戰

◇第三百十七回戰

◇第三百十八回戰

◇第三百十九回戰

◇第三百二十回戰

◇第三百二十一回戰

◇第三百二十二回戰

◇第三百二十三回戰

◇第三百二十四回戰

◇第三百二十五回戰

◇第三百二十六回戰

◇第三百二十七回戰

◇第三百二十八回戰

◇第三百二十九回戰

◇第三百三十回戰

◇第三百三十一回戰

◇第三百三十二回戰

◇第三百三十三回戰

◇第三百三十四回戰

◇第三百三十五回戰

◇第三百三十六回戰

◇第三百三十七回戰

◇第三百三十八回戰

◇第三百三十九回戰

◇第三百四十回戰

◇第三百四十一回戰

◇第三百四十二回戰

◇第三百四十三回戰

◇第三百四十四回戰

◇第三百四十五回戰

◇第三百四十六回戰

◇第三百四十七回戰

◇第三百四十八回戰

◇第三百四十九回戰

◇第三百五十回戰

◇第三百五十一回戰

◇第三百五十二回戰

◇第三百五十三回戰

◇第三百五十四回戰

◇第三百五十五回戰

◇第三百五十六回戰

◇第三百五十七回戰

◇第三百五十八回戰

◇第三百五十九回戰

◇第四百回戰

◇第四百一回戰

◇第四百二回戰

◇第四百三回戰

◇第四百四回戰

◇第四百五回戰

◇第四百六回戰

◇第四百七回戰

◇第四百八回戰

◇第四百九回戰

◇第四百十回戰

◇第四百十一回戰

◇第四百十二回戰

◇第四百十三回戰

◇第四百十四回戰

◇第四百十五回戰

◇第四百十六回戰

◇第四百十七回戰

◇第四百十八回戰

◇第四百十九回戰

◇第四百二十回戰

◇第四百二十一回戰

◇第四百二十二回戰

◇第四百二十三回戰

◇第四百二十四回戰

◇第四百二十五回戰

◇第四百二十六回戰

◇第四百二十七回戰

◇第四百二十八回戰

◇第四百二十九回戰

◇第四百三十回戰

◇第四百三十一回戰

◇第四百三十二回戰

◇第四百三十三回戰

◇第四百三十四回戰

◇第四百三十五回戰

◇第四百三十六回戰

◇第四百三十七回戰

◇第四百三十八回戰

◇第四百三十九回戰

◇第四百四十回戰

◇第四百四十一回戰

◇第四百四十二回戰

◇第四百四十三回戰

◇第四百四十四回戰

◇第四百四十五回戰

◇第四百四十六回戰

◇第四百四十七回戰

◇第四百四十八回戰

◇第四百四十九回戰

◇第四百五十回戰

◇第四百五十一回戰

◇第四百五十二回戰

◇第四百五十三回戰

◇第四百五十四回戰

◇第四百五十五回戰

◇第四百五十六回戰

◇第四百五十七回戰

◇第四百五十八回戰

◇第四百五十九回戰

◇第五百回戰

◇第五百一回戰

◇第五百二回戰

◇第五百三回戰

◇第五百四回戰

◇第五百五回戰

◇第五百六回戰

◇第五百七回戰

◇第五百八回戰

◇第五百九回戰

◇第五百十回戰

◇第五百十一回戰

◇第五百十二回戰

◇第五百十三回戰

◇第五百十四回戰

◇第五百十五回戰

◇第五百十六回戰

◇第五百十七回戰

◇第五百十八回戰

◇第五百十九回戰

◇第五百二十回戰

◇第五百二十一回戰

◇第五百二十二回戰

◇第五百二十三回戰

◇第五百二十四回戰

◇第五百二十五回戰

◇第五百二十六回戰

◇第五百二十七回戰

◇第五百二十八回戰

◇第五百二十九回戰

◇第五百三十回戰

◇第五百三十一回戰

◇第五百三十二回戰

◇第五百三十三回戰

◇第五百三十四回戰

◇第五百三十五回戰

◇第五百三十六回戰

◇第五百三十七回戰

◇第五百三十八回戰

◇第五百三十九回戰

◇第五百四十回戰

◇第五百四十一回戰

◇第五百四十二回戰

◇第五百四十三回戰

◇第五百四十四回戰

◇第五百四十五回戰

◇第五百四十六回戰

◇第五百四十七回戰

◇第五百四十八回戰

◇第五百四十九回戰

◇第五百五十回戰

◇第五百五十一回戰

◇第五百五十二回戰

◇第五百五十三回戰

◇第五百五十四回戰

◇第五百五十五回戰

◇第五百五十六回戰

◇第五百五十七回戰

◇第五百五十八回戰

◇第五百五十九回戰

◇第六百回戰

◇第六百一回戰

◇第六百二回戰

◇第六百三回戰

◇第六百四回戰

◇第六百五回戰

◇第六百六回戰

◇第六百七回戰

◇第六百八回戰

◇第六百九回戰

◇第六百十回戰

◇第六百十一回戰

◇第六百十二回戰

◇第六百十三回戰

◇第六百十四回戰

◇第六百十五回戰

◇第六百十六回戰

◇第六百十七回戰

◇第六百十八回戰

◇第六百十九回戰

◇第六百二十回戰

◇第六百二十一回戰

◇第六百二十二回戰

◇第六百二十三回戰

◇第六百二十四回戰

◇第六百二十五回戰

◇第六百二十六回戰

◇第六百二十七回戰

◇第六百二十八回戰

◇第六百二十九回戰

◇第六百三十回戰

◇第六百三十一回戰

◇第六百三十二回戰

◇第六百三十三回戰

◇第六百三十四回戰

◇第六百三十五回戰

◇第六百三十六回戰

◇第六百三十七回戰

◇第六百三十八回戰

◇第六百三十九回戰

◇第六百四十回戰

◇第六百四十一回戰

◇第六百四十二回戰

◇第六百四十三回戰

◇第六百四十四回戰

◇第六百四十五回戰

◇第六百四十六回戰

◇第六百四十七回戰

◇第六百四十八回戰

◇第六百四十九回戰

◇第六百五十回戰

◇第六百五十一回戰

◇第六百五十二回戰

◇第六百五十三回戰

◇第六百五十四回戰

◇第六百五十五回戰

◇第六百五十六回戰

◇第六百五十七回戰

◇第六百五十八回戰

◇第六百五十九回戰

◇第七百回戰

◇第七百一回戰

◇第七百二回戰

◇第七百三回戰

◇第七百四回戰

◇第七百五回戰

◇第七百六回戰

◇第七百七回戰

◇第七百八回戰

◇第七百九回戰

◇第七百十回戰

◇第七百十一回戰

◇第七百十二回戰

◇第七百十三回戰

◇第七百十四回戰

◇第七百十五回戰

◇第七百十六回戰

◇第七百十七回戰

◇第七百十八回戰

◇第七百十九回戰

◇第七百二十回戰

◇第七百二十一回戰

◇第七百二十二回戰

◇第七百二十三回戰

◇第七百二十四回戰

◇第七百二十五回戰

◇第七百二十六回戰

◇第七百二十七回戰

◇第七百二十八回戰

◇第七百二十九回戰

◇第七百三十回戰

◇第七百三十一回戰

◇第七百三十二回戰

◇第七百三十三回戰

◇第七百三十四回戰

◇第七百三十五回戰

◇第七百三十六回戰

◇第七百三十七回戰

◇第七百三十八回戰

◇第七百三十九回戰

◇第七百四十回戰

◇第七百四十一回戰

◇第七百四十二回戰

◇第七百四十三回戰

◇第七百四十四回戰

◇第七百四十五回戰

◇第七百四十六回戰

◇第七百四十七回戰

◇第七百四十八回戰

◇第七百四十九回戰

◇第七百五十回戰

◇第七百五十一回戰

◇第七百五十二回戰

◇第七百五十三回戰

◇第七百五十四回戰

◇第七百五十五回戰

◇第七百五十六回戰

◇第七百五十七回戰

◇第七百五十八回戰

◇第七百五十九回戰

◇第八百回戰

◇第八百一回戰

◇第八百二回戰

◇第八百三回戰

◇第八百四回戰

◇第八百五回戰

◇第八百六回戰

◇第八百七回戰

◇第八百八回戰

◇第八百九回戰

◇第八百十回戰

◇第八百十一回戰

◇第八百十二回戰

◇第八百十三回戰

◇第八百十四回戰

◇第八百十五回戰

◇第八百十六回戰

◇第八百十七回戰

◇第八百十八回戰

◇第八百十九回戰

◇第八百二十回戰

◇第八百二十一回戰

◇第八百二十二回戰

◇第八百二十三回戰

◇第八百二十四回戰

◇第八百二十五回戰

◇第八百二十六回戰

◇第八百二十七回戰

◇第八百二十八回戰

◇第八百二十九回戰

◇第八百三十回戰

◇第八百三十一回戰

◇第八百三十二回戰

◇第八百三十三回戰

◇第八百三十四回戰

◇第八百三十五回戰

◇第八百三十六回戰

◇第八百三十七回戰

◇第八百三十八回戰

◇第八百三十九回戰

◇第八百四十回戰

◇第八百四十一回戰

◇第八百四十二回戰

◇第八百四十三回戰

◇第八百四十四回戰

◇第八百四十五回戰

◇第八百四十六回戰

◇第八百四十七回戰

◇第八百四十八回戰

◇第八百四十九回戰

◇第八百五十回戰

◇第八百五十一回戰

◇第八百五十二回戰

◇第八百五十三回戰

◇第八百五十四回戰

◇第八百五十五回戰

◇第八百五十六回戰

◇第八百五十七回戰

◇第八百五十八回戰

◇第八百五十九回戰

◇第九百回戰

◇第九百一回戰

◇第九百二回戰

◇第九百三回戰

◇第九百四回戰

◇第九百五回戰

◇第九百六回戰

◇第九百七回戰

◇第九百八回戰

◇第九百九回戰

◇第九百十回戰

◇第九百十一回戰

◇第九百十二回戰

◇第九百十三回戰

◇第九百十四回戰

◇第九百十五回戰

◇第九百十六回戰

◇第九百十七回戰

◇第九百十八回戰

◇第九百十九回戰

◇第九百二十回戰

◇第九百二十一回戰

◇第九百二十二回戰

◇第九百二十三回戰

◇第九百二十四回戰

◇第九百二十五回戰

◇第九百二十六回戰

◇第九百二十七回戰

◇第九百二十八回戰

◇第九百二十九回戰

◇第九百三十回戰

◇第九百三十一回戰

◇第九百三十二回戰

◇第九百三十三回戰

◇第九百三十四回戰

◇第九百三十五回戰

◇第九百三十六回戰

◇第九百三十七回戰

◇第九百三十八回戰

◇第九百三十九回戰

◇第九百四十回戰

◇第九百四十一回戰

◇第九百四十二回戰

◇第九百四十三回戰

◇第九百四十四回戰

◇第九百四十五回戰

◇第九百四十六回戰

◇第九百四十七回戰

◇第九百四十八回戰

◇第九百四十九回戰

◇第九百五十回戰

◇第九百五十一回戰

◇第九百五十二回戰

◇第九百五十三回戰

◇第九百五十四回戰

◇第九百五十五回戰

◇第九百五十六回戰

◇第九百五十七回戰

◇第九百五十八回戰

◇第九百五十九回戰

◇第十百回戰

◇第十百一回戰

◇第十百二回戰

◇第十百三回戰

◇第十百四回戰

◇第十百五回戰

◇第十百六回戰

◇第十百七回戰

◇第十百八回戰

◇第十百九回戰

◇第十百十回戰

◇第十百十一回戰

◇第十百十二回戰

◇第十百十三回戰

◇第十百十四回戰

◇第十百十五回戰

◇第十百十六回戰

◇第十百十七回戰

◇第十百十八回戰

◇第十百十九回戰

◇第十百二十回戰

◇第十百二十一回戰

◇第十百二十二回戰

◇第十百二十三回戰

◇第十百二十四回戰

◇第十百二十五回戰

◇第十百二十六回戰

◇第十百二十七回戰

◇第十百二十八回戰

◇第十百二十九回戰

◇第十百三十回戰

◇第十百三十一回戰

◇第十百三十二回戰

◇第十百三十三回戰

◇第十百三十四回戰

◇第十百三十五回戰

◇第十百三十六回戰

◇第十百三十七回戰

◇第十百三十八回戰

◇第十百三十九回戰

◇第十百四十回戰

◇第十百四十一回戰

◇第十百四十二回戰

◇第十百四十三回戰

◇第十百四十四回戰

◇第十百四十五回戰

◇第十百四十六回戰

◇第十百四十七回戰

◇第十百四十八回戰

◇第十百四十九回戰

◇第十百五十回戰

◇第十百五十一回戰

◇第十百五十二回戰

◇第十百五十三回戰

◇第十百五十四回戰

◇第十百五十五回戰

◇第十百五十六回戰

◇第十百五十七回戰

◇第十百五十八回戰

◇第十百五十九回戰

◇第十百六十回戰

◇第十百六十一回戰

◇第十百六十二回戰

◇第十百六十三回戰

◇第十百六十四回戰

◇第十百六十五回戰

◇第十百六十六回戰

◇第十百六十七回戰

◇第十百六十八回戰

◇第十百六十九回戰

◇第十百七十回戰

◇第十百七十一回戰

◇第十百七十二回戰

◇第十百七十三回戰

◇第十百七十四回戰

◇第十百七十五回戰

◇第十百七十六回戰

◇第十百七十七回戰

◇第十百七十八回戰

◇第十百七十九回戰

◇第十百八十回戰

◇第十百八十一回戰

◇第十百八十二回戰

◇第十百八十三回戰

◇第十百八十四回戰

◇第十百八十五回戰

◇第十百八十六回戰

◇第十百八十七回戰

◇第十百八十八回戰

◇第十百八十九回戰

◇第十百九十回戰

◇第十百九十一回戰

◇第十百九十二回戰

◇第十百九十三回戰

◇第十百九十四回戰

◇第十百九十五回戰

◇第十百九十六回戰

◇第十百九十七回戰

◇第十百九十八回戰

◇第十百九十九回戰

◇第二十百回戰

◇第二十百一回戰

◇第二十百二回戰

◇第二十百三回戰

◇第二十百四回戰

◇第二十百五回戰

◇第二十百六回戰

◇第二十百七回戰

◇第二十百八回戰

◇第二十百九回戰

◇第二十百十回戰

◇第二十百十一回戰

◇第二十百十二回戰

◇第二十百十三回戰

◇第二十百十四回戰

◇第二十百十五回戰

◇第二十百十六回戰

◇第二十百十七回戰

◇第二十百十八回戰

◇第二十百十九回戰

◇第二十百二十回戰

◇第二十百二十一回戰

◇第二十百二十二回戰

◇第二十百二十三回戰

◇第二十百二十四回戰

◇第二十百二十五回戰

◇第二十百二十六回戰

◇第二十百二十七回戰

◇第二十百二十八回戰

◇第二十百二十九回戰

◇第三十百回戰

◇第三十百一回戰

◇第三十百二回戰

◇第三十百三回戰

◇第三十百四回戰

◇第三十百五回戰

◇第三十百六回戰

◇第三十百七回戰

◇第三十百八回戰

◇第三十百九回戰

◇第三十百十回戰

◇第三十百十一回戰

◇第三十百十二回戰

◇第三十百十三回戰

◇第三十百十四回戰

◇第三十百十五回戰

◇第三十百十六回戰

◇第三十百十七回戰

◇第三十百十八回戰

◇第三十百十九回戰

◇第三十百二十回戰

◇第三十百二十一回戰

◇第三十百二十二回戰

◇第三十百二十三回戰

◇第三十百二十四回戰

◇第三十百二十五回戰

◇第三十百二十六回戰

◇第三十百二十七回戰

◇第三十百二十八回戰

◇第三十百二十九回戰

◇第四十百回戰

◇第四十百一回戰

◇第四十百二回戰

◇第四十百三回戰

◇第四十百四回戰

◇第四十百五回戰

◇第四十百六回戰

◇第四十百七回戰

◇第四十百八回戰

◇第四十百九回戰

◇第四十百十回戰

◇第四十百十一回戰

◇第四十百十二回戰

◇第四十百十三回戰

◇第四十百十四回戰

◇第四十百十五回戰

◇第四十百十六回戰

◇第四十百十七回戰

◇第四十百十八回戰

◇第四十百十九回戰

◇第四十百二十回戰

◇第四十百二十一回戰

◇第四十百二十二回戰

◇第四十百二十三回戰

◇第四十百二十四回戰

◇第四十百二十五回戰

◇第四十百二十六回戰

◇第四十百二十七回戰

◇第四十百二十八回戰

◇第四十百二十九回戰

◇第五十百回戰

◇第五十百一回戰

◇第五十百二回戰

◇第五十百三回戰

◇第五十百四回戰

◇第五十百五回戰

◇第五十百六回戰

◇第五十百七回戰

◇第五十百八回戰

◇第五十百九回戰

◇第五十百十回戰

◇第五十百十一回戰

◇第五十百十二回戰

◇第五十百十三回戰

◇第五十百十四回戰

◇第五十百十五回戰

◇第五十百十六回戰

◇第五十百十七回戰

◇第五十百十八回戰

◇第五十百十九回戰

◇第五十百二十回戰

◇第五十百二十一回戰

◇第五十百二十二回戰

◇第五十百二十三回戰

◇第五十百二十四回戰

◇第五十百二十五回戰

◇第五十百二十六回戰

◇第五十百二十七回戰

◇第五十百二十八回戰

◇第五十百二十九回戰

◇第六十百回戰

◇第六十百一回戰

◇第六十百二回戰

◇第六十百三回戰

◇第六十百四回戰

◇第六十百五回戰

◇第六十百六回戰

◇第六十百七回戰

◇第六十百八回戰

◇第六十百九回戰

◇第六十百十回戰

◇第六十百十一回戰

◇第六十百十二回戰

◇第六十百十三回戰

◇第六十百十四回戰

◇第六十百十五回戰

◇第六十百十六回戰

◇第六十百十七回戰

◇第六十百十八回戰

◇第六十百十九回戰

◇第六十百二十回戰

◇第六十百二十一回戰

◇第六十百二十二回戰

◇第六十百二十三回戰

◇第六十百二十四回戰

◇第六十百二十五回戰

◇第六十百二十六回戰

◇第六十百二十七回戰

◇第六十百二十八回戰

◇第六十百二十九回戰

◇第七十百回戰

◇第七十百一回戰

◇第七十百二回戰

◇第七十百三回戰

◇第七十百四回戰

◇第七十百五回戰

◇第七十百六回戰

◇第七十百七回戰

◇第七十百八回戰

◇第七十百九回戰

◇第七十百十回戰

◇第七十百十一回戰

◇第七十百十二回戰

◇第七十百十三回戰

◇第七十百十四回戰

◇第七十百十五回戰

◇第七十百十六回戰

◇第七十百十七回戰

◇第七十百十八回戰

◇第七十百十九回戰

◇第七十百二十回戰

◇第七十百二十一回戰

◇第七十百二十二回戰

◇第七十百二十三回戰

◇第七十百二十四回戰

◇第七十百二十五回戰

◇第七十百二十六回戰

◇第七十百二十七回戰

◇第七十百二十八回戰

◇第七十百二十九回戰

◇第八十百回戰

◇第八十百一回戰

◇第八十百二回戰

◇第八十百三回戰

◇第八十百四回戰

◇第八十百五回戰

◇第八十百六回戰

◇第八十百七回戰

◇第八十百八回戰

◇第八十百九回戰

◇第八十百十回戰

◇第八十百十一回戰

◇第八十百十二回戰

◇第八十百十三回戰

◇第八十百十四回戰

◇第八十百十五回戰

◇第八十百十六回戰

◇第八十百十七回戰

◇第八十百十八回戰

◇第八十百十九回戰

◇第八十百二十回戰

◇第八十百二十一回戰

◇第八十百二十二回戰

◇第八十百二十三回戰

◇第八十百二十四回戰

◇第八十百二十五回戰

◇第八十百二十六回戰

◇第八十百二十七回戰

◇第八十百二十八回戰

◇第八十百二十九回戰

◇第九十百回戰

◇第九十百一回戰

◇第九十百二回戰

◇第九十百三回戰

◇第九十百四回戰

◇第九十百五回戰

◇第九十百六回戰

◇第九十百七回戰

◇第九十百八回戰

◇第九十百九回戰

◇第九十百十回戰

◇第九十百十一回戰

◇第九十百十二回戰

◇第九十百十三回戰

◇第九十百十四回戰

◇第九十百十五回戰

◇第九十百十六回戰

◇第九十百十七回戰

◇第九十百十八回戰

◇第九十百十九回戰

◇第九十百二十回戰

◇第九十百二十一回戰

◇第九十百二十二回戰

◇第九十百二十三回戰

◇第九十百二十四回戰

◇第九十百二十五回戰

◇第九十百二十六回戰

◇第九十百二十七回戰

◇第九十百二十八回戰

◇第九十百二十九回戰

◇第百十百回戰

◇第百十百一回戰

◇第百十百二回戰

◇第百十百三回戰

◇第百十百四回戰

◇第百十百五回戰

◇第百十百六回戰

◇第百十百七回戰

◇第百十百八回戰

◇第百十百九回戰

◇第百十百十回戰

◇第百十百十一回戰

◇第百十百十二回戰

◇第百十百十三回戰

◇第百十百十四回戰

◇第百十百十五回戰

◇第百十百十六回戰

◇第百十百十七回戰

◇第百十百十八回戰

◇第百十百十九回戰

◇第百十百二十回戰

◇第百十百二十一回戰

◇第百十百二十二回戰

◇第百十百二十三回戰

◇第百十百二十四回戰

◇第百十百二十五回戰

◇第百十百二十六回戰

◇第百十百二十七回戰

◇第百十百二十八回戰

◇第百十百二十九回戰

◇第二百十百回戰

◇第二百十百一回戰

◇第二百十百二回戰

◇第二百十百三回戰

◇第二百十百四回戰

◇第二百十百五回戰

◇第二百十百六回戰

◇第二百十百七回戰

◇第二百十百八回戰

◇第二百十百九回戰

◇第二百十百十回戰

◇第二百十百十一回戰

◇第二百十百十二回戰

◇第二百

地方版

仁川物産の——お家騒動——

容易には收まるまい——中村氏の態度が問題

【仁川】驚天動地の仁川物産の騒動は、調査委員の解散後、調査委員の解散に伴ひ、調査委員の解散に伴ひ、調査委員の解散に伴ひ

三共の藥品

脚氣藥として…… ヴィタミンB剤として 效力第一

オリザニン

オリザニン發見以來既に二十餘年、初め脚氣藥として我治療界に提供せられたる本劑は、獨り脚氣に特效あるのみならず、別項に列擧する如く多方面の疾患に良效を奏することの明となり、實驗諸家の信賴賞用、年と共に加はり好評嘖々たり。

オリザニンはヴィタミンBの世界的始祖

オリザニンは、東京帝國大學教授農學博士鈴木梅太郎氏の發見（明治四十三年、1910年）にかゝり、實に現今に於けるヴィタミンBの世界的始祖たり。鈴木博士は本品發見の功により帝國學士院より受賞せられ、又最近獨逸國立學士院は鈴木博士の生理化學に關する多方面の業績（蛋白化學、オリザニンの發見等）を認め、全會一致を以て同院會員に推薦するに至れり、以て本品の價値を卜すべし。

オリザニン（ヴィタミンB）は、人體に缺くべからざる榮養素なり

人及動物の食物中に本成分即ちオリザニンを缺くときは、他の榮養物は如何に豐富なるも、遂には種々の障碍乃至病變を起し、衰弱死に至ることは、動物實驗よく之を明示す。故にオリザニンは動物は勿論、人に於ても必要缺くべからざる榮養素にして、而もその障碍乃至病變惹起に關與するところ頗る廣汎なり。次に列擧する諸疾患は即ち體內オリザニン（ヴィタミンB）の缺乏を意味するものなり。

脚氣

脚氣は、ヴィタミンBの缺乏を主因とする疾患なることは、既に決定的の事實なり。故にオリザニンは、すべての脚氣病即ち衝心型、浮腫型、心臟型、麻痺型は勿論、乳兒脚氣、妊娠及產褥に併發する脚氣、重病（肺結核、腸チフス其他）經過中に併發する脚氣等は、皆オリザニンの應用によつて急速なる快癒を來す。これ多數の實驗報告の立證するところなり。

人工榮養兒

牛乳、煉乳、粉乳又はチャン等を以て哺育せらるゝ人工榮養兒に屢々發育の障碍、消化不良乃至榮養障碍を來すことあるは周知の事實なり。オリザニンはかゝる場合に又卓越せる良果を現はす。更に母乳兒の消化不良及秘便等に對し、オリザニンを與へて急速に快癒せる治驗報告あり。

姙娠及產褥

姙娠及產褥には、屢々脚氣を併發す。此際オリザニンの特效を奏するは勿論、實驗諸家の經驗は、每常惡阻に苦しみたる姙婦がオリザニンの內服によつて消散せるのみならず、却て食慾を增進し、便通亦佳良となり、その姙娠期間を通じてオリザニンを用ひたるものは、胎兒の發育良好にして、產後の乳汁分泌及生兒の肥立ち亦頗る順調佳良なるを知られつゝあり。

兒童の成長發育增進

オリザニンが、兒童の成長發育並に體重增進に有效なることは、大正三——四年に亙り、養育院の收容兒童に就て鈴木博士の觀察せられたるところに徵して明なり。又本會社に於ける動物實驗成績も此事實を雄辯に立證する成績を示しつゝあり。而してその效力は成長促進要素ヴィタミンを比較的多量に含有すと稱せらるゝ酵母に比して2—4倍强力なりとす。

消耗性疾患

（結核諸症、急性熱性病、腎臟炎、貧血、惡液質、糖尿病其他……）

消耗性疾患は、すべて體成分を消耗すること多く、爲に代謝機能に異常を招來す。特に發熱はヴィタミンBの需要消費を多からしめ、食慾は缺損し、食餌亦單調（梅干、重湯の類）となり外部よりのヴィタミンB補給不充分勝ちとなり屢々脚氣又は脚氣樣榮養障碍を惹起す。オリザニンは斯かる場合に最良のヴィタミンB補給源となり、是等障碍の禍根を絕つの效あり。

スポーツマンとオリザニン

スポーツマンは、特に糖分を欲求すること多く爲に體內ヴィタミンBの消費を高め、これが缺乏を招來しやすし。最近此見地よりオリザニンはスポーツマンの常用藥として推奬せられつゝあり。而して又オリザニンは運動競技者の心臟力を强め、疲勞を防ぎ且つ其恢復を迅速ならしむる效力あるを實驗的に認めらるゝに至れり。

オリザニンの賣品種類

オリザニンには、粉末、錠劑、液劑、エキス劑、注射液、十倍强力注射液及强力オリザニンの各種あり。
全國有名藥舖にて販賣す。（說明書御申越次第進呈）

注意　類似模倍品あり、御購求の際は必ずオリザニン又は三共株式會社名義に御注意を乞ふ。

製造發賣元　三共株式會社　本社出張所　東京日本橋區室町　大阪・盛北・盛岡

二十三日（月）

午前一〇時〇分　氣象概況、音地天氣豫報
天氣豫況（仁川觀測所發表）
一〇時四五分　料理獻立、日用品價段、鮮魚市場
同一時五九分　時報、ニュース
午後〇時三〇分　獨唱　獨唱　ピアノ伴奏　徐祥鋼
一、鶯　弘田龍太郎作曲
二、叱られて　同
三、糸車　曙井清水作曲
四、ニーナの死　シ、リア民謠
五、おゝ君よ　ヂオタニー曲
同一時一〇分　衞生講座　分娩及產後の兒體及保護（一）　朴容騎
同二時一五分　家庭講座　服茶の話　馬場鍬太郎
同四時〇分　公示事項
同五時四五分　ラヂオ體操　體操
同五時五分　紹介事項　對露のプログラム發表
同六時〇分　童謠と唱歌　カナタ會々員　伊奏表演　鎭
同六時三〇分　英語講座（A）　開倉田三郎
初等科（一七）
同七時〇分　ニュース、公示事項
翌日プログラム發表
同七時三〇分　蓄音ニュース（A）
同八時〇分　ヴァイオリン獨奏（A）　ヴァイオリン　林龍作
ピアノ獨奏（A）　ヴァイオリン　高折宮次
一、奏鳴曲　ヴェラッチー作曲
リトルネロ・アレグロ・メネエットとガヴオット
二、コレリのガヴオットによる變奏曲　タルティーニ作曲
三、ピアノ獨奏　子供時代　シューマン作曲
I 異國から

將棋新手合（四）

於東京市日本橋區蠣殼町二ノ十五　滿呂大光治（東京）　滿呂木將棋四段

（盤は七角の局面）

飛角交　△七段　角番　△二段　野口　初蔵（大連）

▲六五歩　△七七桂　▲八六歩　△六五歩　▲同　桂　△同　金　▲六四金　△六五歩　▲五七桂　△六三金　▲六六歩　△八五歩　▲同　歩　△九四歩　▲三三歩　△同　金　▲四五桂（以下次號）

（滿呂大七段講評）（上手）敵の四路攻撃を受け切る術は、兵力が不足であるから出來ないので、六五歩と打つて決戰に出るのは此場に已むを得ない

（下手）五七桂と打つて、敵の攻撃に備へるのは手筋である

（上手）八六歩と突いて敵の歩手を誘るのは攻撃手筋である

（下手）六五歩と取るのは、少々無理である、蓋は同歩と取り、敵ハ五歩なれば、六五歩と誘與する處である

（上手）六五歩打ちは、却つて敵筆を六三へ下げ銀の連絡をよくする故面白くない、蓋は三三歩と打ち敵の歩手を狙ふ處である

（下手）九四桂と打つて、敵の玉頭を狙ふは常道である

（上手）同金と取るのは、此の場合已むを得ない

▲野口氏桂歩打　▲八七歩成　▲同　金　▲六五歩　△同　金　▲五七桂　△六四金　▲六五歩

今日の新刊

（電報通信社調査）

（那文部）　賀郎（第十一號）　摂直說▲安通と自動車（第三卷第五號）　胡山渡▲從物語秀月報（第四號）　大和田巖▲面の陣（第四號）　恵島六雄▲奮闘北海道　酒井安一▲共立無證月報（第一號）　尾崎陽太郎▲京城日用品價（第十五號）　胡山渡▲從物語秀月報

昭和七年五月廿二日（第三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報

號外

發行所 京城太平通二丁目
合資會社 京城日報社
光化門長四〇〇番
振替京城三〇〇番
編輯兼發行人 兒島吉治
印刷人 小川三之介

本號外は本紙に再錄せず

齋藤子組閣に取掛る

御猶豫を乞ひ奉りて

兒玉伯及び丸山氏等と

【東京至急報】齋藤實子は廿二日午後六時四十一分參内したが、時局の重大を御軫念あらせられる　天皇陛下には特に御晩餐の時間を御差繰り遊ばされ、同六時五十分御學問所にて子に拜謁仰付られ後繼内閣首班として組閣の大命を賜つた、子は恐懼御猶豫を乞ひ奉りて退下し鈴木侍從長、牧野内府、一木宮相と會見、午後七時十五分退出し自宅に入り兒玉秀雄伯、丸山鶴吉氏等と直ちに組閣準備に着手した

大命を拜し齋藤子語る

【東京電報】齋藤子爵は自邸に於て廿二日午後十一時廿分新聞通信記者に對し左の如く語る　私は大命を拜しようとは全く期待してゐなかつたので只管恐懼してゐる次第である、組閣に對しては全く準備がないので暫く御猶豫を願つて何分の奉答を申上げますと御答して退下した位である、明朝西園寺公を訪問することは西園寺公は御下問に奉答し私を褒賞して下さつたので挨拶をしなほ公の御答をも察する次第である、政民兩黨に交渉するかどうかは目下考慮中で一切御話し兼ねる、何時頃組閣を見るかもまだ豫想は出來ない

兩總裁に入閣勸說か

【東京發電通】齋藤子は自邸を組閣本部とし兒玉秀雄伯、丸山鶴吉氏等と組閣方針につき協議中でこの結果、若槻、鈴木兩總裁を招き、入閣を勸誘し援助を求むる模樣である

齋藤内閣の顔觸れ

一流人物を網羅す

政友三民政二の割合

【東京發電通】齋藤内閣は政黨に基礎を持たぬ爲め成立までには相當の時日を要すると見られるが、擧國一致協力内閣を期して齋藤子は若槻民政、鈴木政友兩總裁の外、山本達雄男、高橋是清氏にも入閣を求めて一流人物内閣を組織せんとするものと見られる、その他の入閣候補者として見られる人物は水野錬太郎、湯浅倉平、兒玉秀雄伯加藤内閣當時の藏相市來乙彦、平沼騏一郎男、内田康哉伯、東京市長永田秀次郎、松平頼壽伯、牧野忠篤子等各氏と見られてゐる、而して政民兩黨が協力する場合は政友三、民政二の割合で五椅子を配し殘り五椅子に黨外人物を配する如くで、その場合床次竹二郎、町田忠治氏等も入閣者中に擧げられてゐる、なほ政務官級候補としては丸山鶴吉、有吉忠一、赤池濃、後藤文夫氏等が數へられてゐる

兒玉氏も入閣せん

丸山鶴吉氏が翰長に

【東京發聯合】大命を拜した齋藤子は午後七時二十分歸邸、財部、兒玉、赤池、丸山諸氏等と協議をなし大體組閣の方針を決定、廿三日午前九時西園寺公を訪問し、大命降下の挨拶ならびに組閣の方針を報告し、いよ〳〵組閣に着手するが政黨に基礎を有せざることゝて組閣は數日を要するものと見らる

【東京發電通】齋藤内閣成立の場合は書記官長に丸山鶴吉氏が就任することゝなる模樣である、なほ兒玉秀雄伯も入閣し擔る模樣である

組閣には數日を要せん

【東京發聯合】齋藤子爵は午後七時二十分歸邸、財部、兒玉、赤池、丸山諸氏等と協議をなし大體組閣の方針を決定、廿三日午前九時西園寺公を訪問し、大命降下の挨拶ならびに組閣の方針を報告し、いよ〳〵組閣に着手するが政黨に基礎を有せざることゝて組閣は數日を要するものと見らる

財部大將

齋藤子を訪問

【東京電報】後備海軍大將財部彪氏は二十二日午後七時九十五分組閣本部に齋藤子を訪問、齋藤子の決意並に組閣方針を聽取して歸去した

園公御慰勞

鮮魚等御下賜

【東京電報】畏き邊りでは西園寺公御慰勞のため廿二日午後四時半鯉口侍從をして公に鮮魚、果物一籠を賜はつた

菅原、三矢兩氏訪問

【東京電報】菅原逓相、三矢宮松氏等も齋藤子を訪問した

園公御慰勞

鮮魚等御下賜

【東京電報】畏き邊りでは西園寺公御慰勞のため廿二日午後四時半鯉口侍從をして公に鮮魚、果物一籠を賜はつた

菅原、三矢兩氏訪問

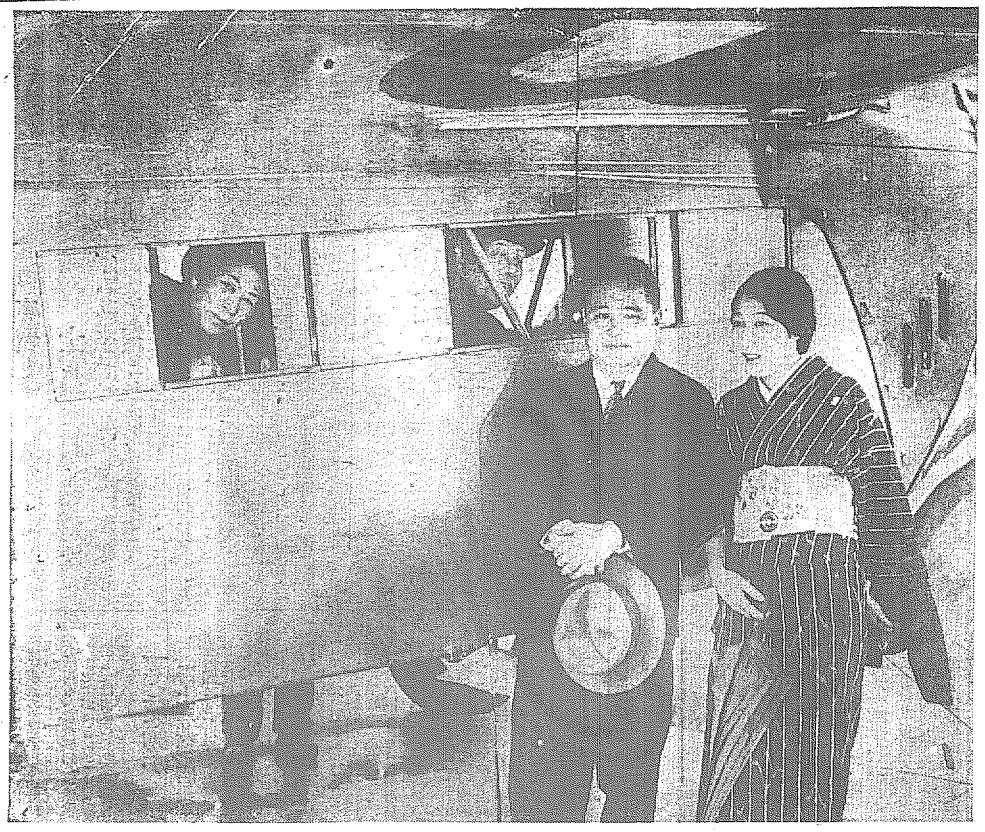
【東京電報】菅原逓相、三矢宮松氏等も齋藤子を訪問した

深更に至るまで協議

【東京電報】齋藤子は來訪者中唐澤つた湯浅、有吉、兒玉伯、丸山、赤池の五氏と深更に至るまで組閣方針並閣員銓衡を協議した

水野氏も馳せ加はる

【東京發電通】廿二日午後八時四十五分元内閣書記官長水野錬太郎氏同じく政務總監にして目下貴族院議員貴族院議長桜井氏、同八時五十六分水野錬太郎氏が齋藤子を訪ひ既に在邸の兒玉伯、丸山氏等と期首して組閣の方針につき協議した



朗かに空を翔る齋藤さん

本月上旬の遊覽飛行で機上は子爵夫妻、地上は嗣子夫妻

入閣内交渉は

園公と意見交換後

【東京發電通至急報】齋藤子は兒玉秀雄伯、丸山鶴吉氏其の他と協議の結果、子は廿三日朝九時西園寺公を訪ひ意見を交換した後初めて閣員候補者に入閣内交渉を行ふこととなつた

重臣長老及び

兩黨總裁とも懇談

【東京發電通至急報】齋藤子は廿三日午前九時西園寺公を訪ひ組閣方針に就き重要懇談を行つた、後牧野内府を訪ひ懇談の上、鈴木、若槻政民兩總裁、高橋是清、山本達雄の政民兩黨長老を訪ひ、兩黨の援助を懇請することなつたが、子はその上奏内大命拜受を奉答せん

入閣懇請あれば

政友

各機關に諮る

【東京發電通】政友會側は齋藤子が大命を拜する以上、當然非常時擧國一致内閣組織のため鈴木總裁の入閣を求めるものと見てゐるが、鈴木總裁は二十二日午後三時十五分總裁邸に到、森幹長を内相官邸に招致し、入閣要求があつた場合の態度を協議したが、結局鈴木總裁の入閣懇請があれば進の各機關に諮ることゝなつた

森幹長より入閣を勸說

【東京發電通】齋藤内閣成立の暁與黨としての應援に關し森幹長書記官長は二十二日午後四時半高橋蔵相を訪ひ齋藤内閣に關聯を遂るべきことを勸說した

民政

代表者を送る

總裁が最も有力

【東京發電通】民政黨は齋藤子が組閣に當りや民政黨にも入閣交渉を求められた場合、代表者を送るべしとの意向に一致した模樣で、その場合總裁が最も有力であるが、その場合總裁部長を除き黨の幹部を送るものと見られてゐる

兩黨の態度

【東京電報至急報】齋藤子は廿三日朝西園寺公訪問の歸途、鈴木政友、若槻民政兩總裁を訪ひ、新内閣の政策の大綱を披瀝して協力を求め、時局重大の際兩總裁の入閣を求められれば大體その入閣を默認することゝならう

民政黨

若槻總裁の入閣は未だ何とも判らぬが、總裁の入閣困難の際は有力人物を入閣せしめ好意的態度を示す模樣である、尾崎民政黨は若槻總裁、山本達雄男、町田忠治氏等より、第三流内閣ならば喜んで協力、永井柳太郎氏等が閣僚候補者に擧げられてゐる

内鮮融和團體が

『齋藤子萬歲』

朝鮮黨で賑ふ本邸

【東京電報】荒山の邸宅から『只今御召の御内意を拜した』との知せを受けた四谷區仲町の齋藤子本邸は俄に活氣ついて、子は仕方のない表情で『ハイ』と答へ、直ちに自邸に上り齋氏夫人の手助けで子は早速二階の書齋へ、守屋榮夫、松村松雄、栗田寅三郎、中野正剛、鶴見祐輔、伊豆富人の各氏等が參集、安達氏を囲んで賑やかだが安達氏は語る

昨年十一月以來の自分の立場が萬事は園公を訪問された上で

水野錬太郎氏談

【東京電報】齋藤子爵を訪問した水野錬太郎氏は語る　朝鮮で御出馬になつた内閣で早速御就任の出たのみで、しかく組閣方針とか言ふことに就ては何

荒木陸相は留任か

【東京發電通】荒木陸相は齋藤子の非常時内閣成立に對し如何なる態度に出るか注目される、武藤陸軍總監、奈倉兵司令官始め軍部内部では留任を期望し居り組閣留任するものと見られる

海相は安保大將か

【東京電報】齋藤内閣の海軍大臣には目下部内の呼聲最も高いのは安保大將で最も適任とされてゐる、岡田大將も噂に上つてゐるが近く豫備役に編入される筈だとの事で今回の如き場合にはやはり部内で押しのきく安保大將が最適任である

一週間は掛らう

組閣協議後　兒玉伯の談

【東京發電通】荒木陸相は齋藤子爵邸に於て組閣につき協議後兒玉秀雄伯は語る　立憲内閣なら一夜どころか數時間で出來やうが今度の場合は政黨子一つ間違へば思ひがけぬ蹉跌を要しやう、殊に現下の情勢では樞爵も慎重の態度をとるであらう、まづ新内閣決定までには一週間位かゝると思はねばなるまい

大體是認

荒木陸相は結局再任することにならう

【東京電報】齋藤子爵は荒木陸相に對し組閣の方針について協議し、斯くて組閣第一夜は滿足裡に更けて行く

……◇……

【東京發聯合】齋藤子爵邸に於て組閣に當り協議の結果荒木陸相は結局再任することになるらしい、これに關する閣議の決定は後日に持越されるなきに至る模樣である、なほ内閣決定までは大體これを是認する意向であり、部内もこれで收まるものと見てゐる模樣である、而して荒木陸相が再任するか否かは閣議を經ずして其の再任を是認してゐるので、荒木陸相も是認一時的なりとも再任の條件を是認する意向であり、又小林中將説もあるがまだ決定に至る模樣である、なほ内閣は大體にいたるまで一致して其の再任を是認する意向であり、又小林中將説もあるがまだ決定に至る模樣である、なほ内閣は大體にいたるまで一致して其の再任を是認する意向である

貴族院は

適任と認む

【東京發電通】後藤内閣の首班に齋藤子爵を迎へる準備に忙しい、子は昨夜遅くまで組閣の方針について協議した、子爵は早速二階の書齋へ、守屋榮夫、松村松雄、栗田寅三郎、中野正剛、鶴見祐輔、伊豆富人の各氏等が參集、安達氏を囲んで賑やかだが安達氏は語る

念願が叶つて非常に嬉しい

安達謙藏氏は語る

【東京發電通】麻布廣尾の安達邸は廿二日午後六時半中野正剛、鶴見祐輔、伊豆富人の各氏等が參集、安達氏を囲んで賑やかだが安達氏は語る　昨年十一月以來の自分の立場が萬事は園公を訪問された上で

強い信念を以て

拜受されたとと思ふ

―大村鐵道局長―

【東京電報】齋藤子爵の組閣に當り大村鐵道局長は語る　今日は重大時局に際し敢て辭退するのは國家に御奉公するといふのが既に朝鮮總督時代からの齋藤子の強い信念だからだ、この國家非常時に當り拜受されたのであらう、勿論この大難局に自信の有る人物でないから赤心を以て國民に御奉公するといふ信念以外には入閣のだ、又齋藤子の人柄にして一意專心に國運の發展に盡瘁するといふことは決して疑ふ餘地はない、齋藤子が組閣

死線を三たび越ゆ

思出多き五月廿二日

齋藤さんの剛膽振り

有難を過ぎた老軀を引っさげてこの壊滅を打破せんと起つた齋藤子の熱誠を通じて三つの死線を越えた物語りがある。しかもその一つは朝鮮と支那の國境鴨綠江で匪賊の狙撃を受けたが微傷だに負はず京城に帰つて來たのが大正十三年の五月二十二日しかも子爵に大命降下の日である――それが八年目の同じ五月二十二日といふ奇しき日の巡り合せで齋藤子は鴨綠江に旅行、雖に渡つた人々は今度の嫁子子爵の祖福いとを祈り合つてゐる。齋藤子爵では今でも五月二十二日を誕生記念日として赤飯を炊いて祝ひ合つてゐるといふのである、三つの死線を越えた

思ひ出

一代の偉丈夫齋藤子の面目躍如たるものがある

去る大正八年九月二日――文化政治を謳歌した齋藤子（當時男爵）が朝鮮總督としてやつて來た日である。釜山港に歓迎キーニング委で出迎への官民を驚かし、水路からは海軍大將の禮砲に着艦へ、當時の南大門驛に到着、特別仕立の馬車に乘つて正に総督せんとした刹那、突然の怒下に倒れてゐた兇漢李某が投げる爆弾は轟然として爆破するや死傷者二十九名に達し、明れの南大門驛頭は忽ち大混亂に陥つた、總督の巻添は爆弾破片が刺さつた人々の嘶きの只眞中に自殺氏の齋藤子は折柄吹奏するラッパの音と共に泰然自若として警官通り一列も崩へず馬車を進めたのである。その時齋藤子のバンドの金具に爆弾の破片が

突つたのである

が刺殺といふ

丸山氏

は一日間在といふ前白い言ひ合ひがあつたが、鴨綠一日總督のことになつた、揮々鴨綠江に乘り出す第一日からかうしたことのあつたのも或は那彼の前兆であつたかも知れぬ。その翌日からの旅程を間らかなものであつた、一行は三隻の船に分乘した、即ち前後に警官の警備船を固めれた、そして一行は時々は後に渡つたり、谷の急の呼び聲を聞いたり、流石に緊張も五月になればのことであつたが、江岸のところへ、警官の奥さんがタッタ一人で子供の手を引き、一行にハンカチを振つてくれるなどの情景が到る所に見受けられた、見るもの聞くもの感じが感激の感であつた、船は毎日進々

その音

と同時に

金融の疏通

加藤鮮銀總裁

多年朝鮮総督府の大任を全うせられ、朝鮮に充分の理解ある齋藤子に大命が降下したとは國家の幸福としてはこの上もないことであり、齋藤子が未曾有の國際的重大難局に當つて老軀を提げ、非常の決心を持つて時局に當られたことになつたのであり、組閣に際してどこに基礎と置くかは重要問題で各方面の意見があることであらう。人材内閣とすれば政民兩党の中から包含されるだらうが、これには賛行すべき政策を樹立してからのことで、この際何々を擁行するかを決定した上、組閣しなければ組閣が既は困難かと見られる時代には大いに政府が社界をやらねばならぬと思ふ。鑑銀組織即ち鮮銀の修築、土木事業の如きものを充分やることが最も緊要であり、この際緊急の緩和に物資の動きを増すことは國債借債をよくする上に於て緊要事項を行ふことが今日の時局に最も必要なことである。要するに外交、財政、軍事等の當面の重大問題を解決する為には國内の團結が必要であり、國家の前途に渡りからしむることが最も急務である、財界の現狀から見れば極度に極端して総金融の疏通の問題は

心強く思ふ

森貯銀頭取

前後十年の永きに亘つて朝鮮銀行の大任に當られ、朝鮮の財情に精通されてゐるのみならず德望識見に缺くるところのない齋藤子に対しては相當四き期待を寄せ、今後どうなるかは我々には一向解らない組閣に當つて政民兩党の協力は出来れば結構だが、もしそれが出来ないなれば一層力強いものになり得る組閣となる譯でもあるが、今後どうなるやうにもあるが、今後どうなるかは我々には一向解らない組閣に當つて政民兩党の協力は出来れば結構だが、もしそれが出来ないなれば一層力強いものになり得る組閣となる譯でもあるが、今後どうなるかは我々には一向解らない

半島財界人は語る

政治がどんな動きを見せてゐるかは何ともいへない、内外共多有の現在の難局に當つて最も必要な問題は人心の安定と思惟思慮に在ると思ふ、この重大時局に齋藤子を内閣の首班に戴くことは非常に結構なことで、殊に朝鮮としては蔡父の如き親しみを感ずる、現下財界の緊要事としては資本の海外逃避を防止する積極的方策を講ずることが最も緊要といふべく、急激を避けて漸進的に進めることが必要であらう

期待の數々

森朝郵社長

齋藤子に對して最も望みを置くところは、國家の緊望を一身に集めて鮮總内閣の首班となられた以上衆議院に對しては相當四き覚悟を有し、この重大時局に齋藤子を内閣の首班に戴くことは

明るい氣持

田淵東拓理事

これで不安な政局も應き安定するに違ひない、それだけで慰安は限りだが、齋藤子は國際的の輝かしい經驗を能度が踏んで眼界の極め洲の最も深い理解者であるだけに、未曾有の難關に當面して居る日本としても、更に又朝鮮としても、わが某閣としても今回の大命降下によつて面上の重責を取除かれたやうな、一種の明るい氣持を感じさせられる、此上は一刻も早く各閣僚の顔觸を見たい。齋藤子は東拓の理解者でもあり且つ幾多の重大問題が横たはつて居る際でもあるから、今回の政變によつて東拓の内部的變動を見る様な事は絶対にないと信ずる。

思惑を覆す

大久保三菱店長

多端を極めた重大時局に際し、よくよくを敬給し得る偉大な指導者として齋藤子を迎へ得たことは蓋し適任者と云ふべく、その組閣は各様の意味合ひから期待を繋ぐに足ると

世界的人物として諸外國及

國際聯盟等に對し好感を持たれることは勿論である

明るい氣持

田淵東拓理事

これで不安な政局も應き安定するに違ひない、それだけで慰安は限りだが、齋藤子は國際的の輝かしい經驗を能度が踏んで眼界の極め洲の最も深い理解者であるだけに、未曾有の難關に當面して居る日本としても、更に又朝鮮としても、わが某閣としても今回の大命降下によつて面上の重責を取除かれたやうな、一種の明るい氣持を感じさせられる、此上は一刻も早く各閣僚の顔觸を見たい。齋藤子は東拓の理解者でもあり且つ幾多の重大問題が横たはつて居る際でもあるから、今回の政變によつて東拓の内部的變動を見る様な事は絶対にないと信ずる。

思惑を覆す

大久保三菱店長

多端を極めた重大時局に際し、よくよくを敬給し得る偉大な指導者として齋藤子を迎へ得たことは蓋し適任者と云ふべく、その組閣は各様の意味合ひから期待を繋ぐに足ると

上海で繋留中の

わが軍用船燃上る

危く彈藥爆發を免る

發火原因頗る奇怪

【上海廿二日發電】廿二日朝大連発貨物船ボンベイ丸（四千五百噸）の四番ハッチより發火したが、同船にはガソリン彈藥その他軍需品が積込まれてゐるため直に出港、目下呉淞沖で繋がれ消防中である、同船は二十五日當地發の豫定で廿一日午前十時より荷役を開始し、廿二日午前八時過ぎ二十名の支那クリーを乗船せしめその直に發火したもので、その他の彈藥四千發あり、若これが爆發すれば一大惨事を現出する所であつたが、通報部の機敏な行動により直に出港、後藤郵船會社下関支店員の指揮の下に消防に当り、〇〇〇多數を連絡して鎮火に努力中である、發火原因については〇〇の疑ひあり